



# 議会だより

# 北栄



「巣立ちの春」

注目事業はこれだ 4

高校生議会 8

町政 ここを問う 10

アポなしインタビュー 22



<http://www.e-hokuei.net>

北栄町議会

検索

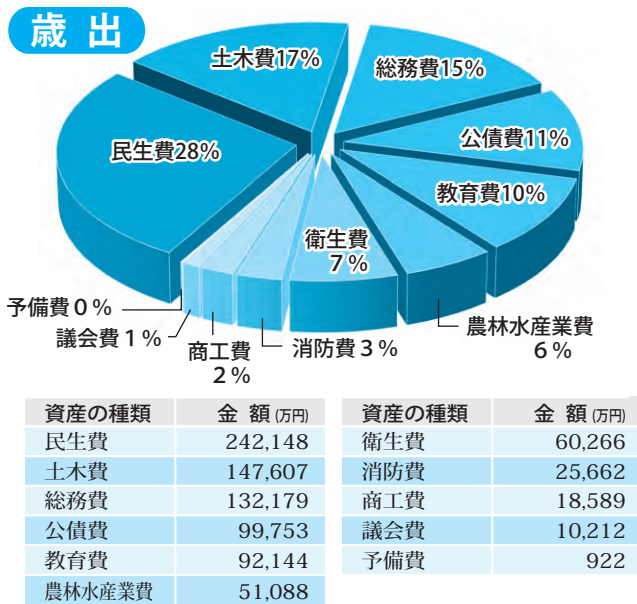
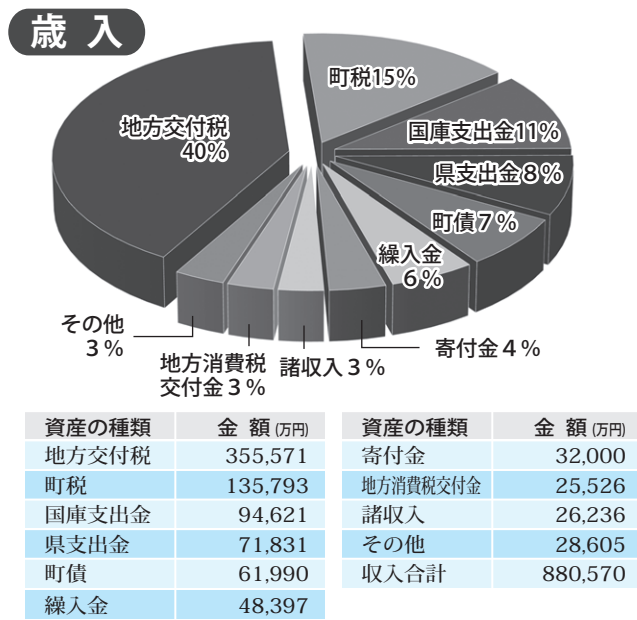




# 道の駅北条公園の再整備

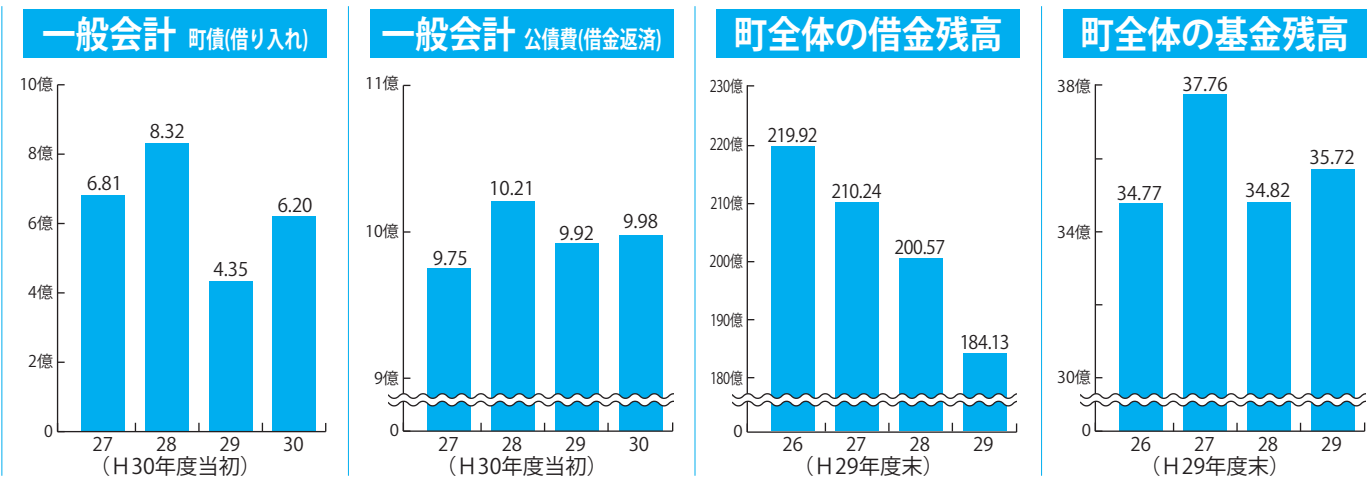
## すすめ方に異論続出

平成30年度一般会計予算  
88億570万円



## 修正案可決

平成30年度の一般会計予算は、88億4400万円を提案されました。しかし、道の駅北条公園再整備の規模や内容が不透明、構想が固まってから、十分な協議が必要、などとして、測りかねられてきました。当初予算の総額は、前年比10.1%。主な新事業には、若年層住宅取得支援、給食費事業、小学生自転車用ヘルメットの着用推進、部活動指導員の配置、NHKのど自慢などがありません。



# 質疑あれこれ

## 一般会計予算

### 道の駅の再整備

**問** 井上 信一郎  
津川 俊仁

基本構想を、きつちり詰めてから、基本設計なり測量設計の委託料を提示すべき。

**答** 手嶋産業振興課長

基本構想がまとまった後、すぐにもかかりたい。山陰道開通前に道の駅ができることが望ましい。

**問** 長谷川 昭二

効果や運営経費など具体的に調査必要。町民にかけが回らないように。

**答** 手嶋産業振興課長

町の財政事情等考え、縮小や規模等は再度検証等しながら進める。

**問** 宮本 幸美

フルードームは、ワイン・カフェとかに再利用し、経費をかけないよう十分検討を。

**答** 手嶋産業振興課長

利用できるものは再利用し、経費を抑えたい。

**問** 斉尾 智弘

北条・大栄の二つの道の駅が両立できるのか。

**答** 手嶋産業振興課長

コンセプトの違いをしっかりと持ち展開する。ワイナリーなど一体的に取り組む。

**問** 阪本 和俊

十分に協議するため、測量・基本設計費を取り下げてほしい。

**答** 松本町長

とりあえず予算を上げ、協議、検討したい。山陰道ができるのに何もしないのは大きな損失。

**減額修正案**  
井上信一郎ほか提出

**問** 津川 俊仁

道の駅北条公園整備の修正はなぜ必要か。  
**答** 井上 信一郎  
事業の内容や規模が不

## 賛否あり

### 原案に賛成討論

北条砂丘農業発展の拠点とするため、再整備は必要。時間がたてば、新たな提案をしても農家の高齢化が進み人材がいなくなる。そうなるのは手遅れである。

### 修正案に賛成討論

いま必要なのは、町民の暮らしを支え、「格差と貧困」を是正すること。投資規模が示されず、経済効果や将来の財政負担などの客観的調査もされず、不透明である。

## 窓口・庶務業務の民間委託

**問** 長谷川 昭二

これまでの臨時職員と債の充当ができる期限内に間に合わせる必要があるのか。

**答** 井上 信一郎

分らない。

## 賛否あり

### 原案に賛成議員

北条側の農業の衰退は著しい。砂丘地振興基金は、砂丘地の活性化のために使すべき。

### 修正案に賛成議員

いま必要なのは、町民の暮らしを支え、「格差と貧困」を是正すること。投資規模が示されず、経済効果や将来の財政負担などの客観的調査もされず、不透明である。

## 問 秋山 修

業務量、業務内容、時間に基いた効率化、適正コストの調査計画はないか。

**答** 小澤企画財政課長

業務にかかった職員数、時間数を出している。

**問** 津川 俊仁

「5年後に黒字になる」が、嘘になることはないか。

**答** 小澤企画財政課長

そうならないように、必要な経費で契約する。

**問** 前田 栄治

老朽危険空き家の除去。そろそろ政治判断で代執行も必要な建物もあるのではないか。

**答** 松本町長

調査を行い必要な物だけ取り組みたい。

**問** 油本 朋也

レークサイド大栄の案内看板がわかりづらい。入り口の手前でわかるようにすべき。

**答** 松本観光交流課長

現地を確認し、必要があれば検討する。

**問** 町田 貴子

倉吉未来中心の負担金は、地震での補修が影響しないか。

**答** 小澤企画財政課長

地震災害の復旧工事費などは、県の全額負担。

**問** 森本 真理子

産後ケア事業の取り組みは。

**答** 磯江教育総務課長

子どもだけ預かるデイサービス型と母子が一緒に宿泊をするものの2つがある。出産後、申し出れば利用できる。

**問** 藤田 和徳

山菜の里は、指定管理者になってから枯れ木が目立つ。樹木を適正管理すべき。  
**答** 松本町長  
今後、検討する。



住みよい  
まちに

# 注目事業はこれだ

平成30年度一般会計予算に盛り込まれた事業を取り上げました。

## 業務の一部を民間委託

2645万円



引き続き、北条支所の窓口業務を民間委託し、10月からは、新たに大栄庁舎の窓口と庶務業務の一部を民間委託します。

## 震災復興イベント

320万円



NHKのど自慢を10月に予定しています。



## 由良宿団地建替

3億4721万円

第2期建替工事（24戸）

## 今後も注目



## 道の駅北条公園再整備

39万円

今後、町民の意見も参考に、基本計画を作成。

## 小学生ヘルメット着用推進

60万円



小学生の自転車用ヘルメットの着用推進を図るため、購入費の半額（上限1,500円）を助成します。

## 第2子の保育料を半額に



兄弟姉妹の同時入所でもなくても半額に。

## 中学校にエアコン設置

1億7294万円



熱中症の心配もなく授業に集中できます。（夏休みを利用して設置予定）



主な条例制定・改正や議案		
<p><b>中小企業・小規模企業振興基本条例の制定</b></p> <p>企業の振興を町政の重要課題と位置づけ、地域経済の発展と住民生活の向上を図る。</p> <p><b>問</b> 田中精一</p> <p>1、町内事業者数とそのうち商工会員の数は。</p> <p>2、会員外への施策適用や連絡などを除外するような事がないように。</p> <p><b>答</b> 手嶋産業振興課長</p> <p>1、町内企業数は495であり、うち商工会員は351。</p> <p>2、町内企業が対象であり、商工会加入の有無は関係なく公平公正に最善の配慮をしていく。</p>	可決	全会一致
<p><b>介護保険条例の一部改正</b></p> <p>第7期は、繰越金が活用できるため保険料の値上げをしないが、新設する第10段階から第12段階の対象者は実質、料率を引き上げるよう変更する。</p>	可決	全会一致
<p><b>第7期介護保険計画・高齢者福祉計画の策定</b></p> <p>反対討論 長谷川昭二</p> <p>計画策定の前提となる介護保険法の改定は、「制度の持続可能性の確保」で、現役並み所得の利用料3割負担など給付の抑制と負担増。「地域包括ケアシステムの進化・推進」は、認定率の引き下げや給付費削減につながりかねない。「障害福祉と介護の共生型サービスの推進」は、専門性を軽視している。</p>	可決	賛成13
<p><b>工事請負契約 旧北条庁舎耐震補強工事（変更）</b></p> <p>変更内容 基礎腐食により、基礎コンクリート強度工事を追加実施し工期が延びるため。</p> <p>契約金額 「5886万円」を「6378万円」に変更</p>	可決	全会一致
<p><b>工事請負契約 由良宿団地建替工事（第2期 変更）</b></p> <p>変更内容 当初設計より基礎杭を深く打ち込まないといけなくなったため。</p> <p>契約金額 「4億2455万円」を「4億3552万円」に変更</p>	可決	全会一致

### 阪本和俊議員に対する懲罰特別委員会の結果報告

津川俊仁議員提出分（第1号）  
採決結果 6対6  
委員長裁決により懲罰を課すべきでないとして決定。

井上信一郎議員提出分（第2号）  
採決結果 9対3  
懲罰を科すべきものと認める。  
懲罰処分の種類 戒告とする。

2月14日の臨時議会において、委員会の報告どおり議決されました。

### 農業委員会委員の任命

今回から法律改正により、町長が議会の同意を得て任命する方法となり、13名を全会一致で同意しました。

**新農業委員**

石井通人	前田浩明
河原廣美	竹原正純
森本壮一	前田榮久
福光康男	前田榮久
盛山由紀子	斎尾直久
一一三満雄	濱坂良男
杉川一二美	山下正美

任期 平成30年5月1日～平成33年4月30日

# 質疑あれこれ

## 一般会計補正

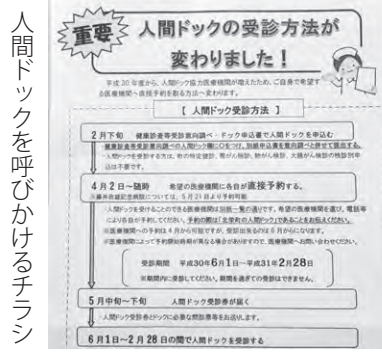
「人間ドック」

**問** 田中 精一

人間ドックを、都合によるキャンセル等で受診できなくなった希望者に再募集をかけてみては。

**答** 吉田健康推進課長

再募集は考えていない。来年度は、受診できる医療機関が7から26に増える。年度途中でも対応しやすくなるため、キャンセルされた希望者や途中で申込みなくなった方々にも、たくさん受診していただきたい。



人間ドックを呼びかけるチラシ



観光案内所

「迷路消費税」

**問** 津川 俊仁

巨大迷路の消費税が40万円減額になった理由は。

**答** 松本観光交流課長

観光協会が、平成28年度課税申告の必要のない団体であった。しかし、平成29年度は課税団体となり、平成30年度当初予算に消費税予定額50万円が計上。

「除雪運転手育成」

**問** 斉尾 智弘

除雪機械運転手育成補助金が減額になっている。なり手がなかったのか。

**答** 吉岡地域整備課長

近年、土木業界は会社数、従業員数の減少が顕著で除雪作業員が増えすぎないため、数年かけて育成していきたい。

「給食配送車」

**問** 前田 栄治

給食配送車2台分の車検手数料33万5千円の減額は多すぎるが、なぜか。

**答** 磯江教育総務課長

当初予算で車検手数料2台分を1台分と勘違いをして、2倍（4台分）を計上してしまっただけ。



給食配送車

## 各人事の選任と任命

副町長の選任と、教育長及び教育委員の任命が全会一致で同意されました。また、選管補充員の選挙を行ったほか、人権擁護委員の諮問は、適任としました。

- |           |       |
|-----------|-------|
| 副町長       | 手嶋 俊樹 |
| 教育長       | 別本 勝美 |
| 教育委員      | 竹信 純一 |
| 選挙管理委員補充員 | 濱田登喜治 |
| 人権擁護委員    | 遠藤 隆好 |

### 特別委員会設置

道の駅整備に関する調査特別委員会  
道の駅整備は将来構想に関わる重要案件であり、十分な調査研究が必要である。

- |      |       |
|------|-------|
| 委員長  | 油本 朋也 |
| 副委員長 | 斉尾 智弘 |
| 委員   | 全議員   |

北条川放水路に関する調査特別委員会  
放水路建設に伴う地盤沈下問題について、解決するまで調査研究の必要がある。

- |      |       |
|------|-------|
| 委員長  | 野田 秀樹 |
| 副委員長 | 阪本 和俊 |
| 委員   | 全議員   |



# 第4回 高校生議会

## 私たちの声を聞いてください

今年も



せいやま りこ 盛山莉子 議員(左) ・ まつうら もも 松浦もも 議員(右)

**問** ほくほくプラザの子育て支援の活動を拡大し、各地区の公民館や子ども園などへの出張講座や読み聞かせ会を積極的に増やしては。

**教委長** 本館は、「一人ひとりを大切にする」ことを活動の中心として、様々な事業を行っている。出かける事業は、「子ども会、親子会活動を応援します」や「人権ワークショップ」などに取り組み、「わくわくとびだす絵本読み聞かせ」をメニューに追加。北条子ども園の4歳児親子会で読み聞かせとゲームを行うなど、楽しみながら学ぶ機会を提供してきている。



やまぐちひろし 山口浩一 議長

第4回となった鳥取中央育英高校の高校生議会が、平成30年1月15日に開催されました。地域探究の時間で研究勉強したことを素直に、鋭く町長・教育委員長に質問しました。過去の質問で具体的に町行政に生かされたこともあり、白熱した高校生議会となりました。

たけもと たいが 竹本大雅 議員

**問** まんがやアニメを観光客の誘客に活用しては。

**町長** 北栄町としては、今後、「名探偵コナン」に会えるまち「北栄町」の魅力を磨き上げ、さらなる魅力ある観光地づくりを行う。



かとう りょう 加藤 凌 議員

**問** イチゴ農家を増やし加工品に力を入れ、駅前か米花商店街に店をつくり宣伝につなげて。

**町長** しっかりとした産地づくりを進めることが、不二家や市場のさらなる信頼を得ることにつながり、需要も伸びてくる。創業支援事業等により、店舗開設を町として積極的に支援していきたい。



まつむら たかまさ 松村隆雅 議員

**問** ご当地グルメメニューの開発を。

**町長** たくさんの試作メニューを考え、小学校や介護施設等多くの方に声をかけ、試食会で、商品化に向けた取り組みが出来ればと考えている。



いわさき こうた 岩崎晃大 議員

**問** 第2子以降の保育料を無料化にして、「子育て支援マップ」を作成しては。

**町長** 保育料は、新たな保育料の軽減を行う。マップは子育て支援センターでとりまとめを行っており、今年の3月完成を目標に取り組みをしている。



たなか そうた 田中創太 議員

**問** 災害避難所に常時バッテリーなどの整備をしては。

**町長** 発電機の確保は出来ているので、新たに避難所ごとに発電機を設置する必要はないと考えている。



ぬのひろりゅうと 布廣隆斗 議員

**問** 高齢者が生き生きと過ごせるよう、「健康貯筋運動」のDVDを作って配布し、TCCで流しては。

**町長** 今年度、健康貯筋運動を紹介するよう育英高校の皆さんのご協力により、運動説明DVDを作成した。DVDは、健康寿命日本一大作戦に取り組んでいる7モデル自治会で活用中。戸別配布や放映は検討したい。



なかもと まこへい 中本万虎平 議員

**問** お台場の大砲をシンボルとなるような巨大な大砲と砲身からの滑り台を作っては。

**町長** 由良台場は国の史跡であり、当時の姿のまま保存することが基本なので、巨大大砲設置は困難。お台場以外での設置を研究してみたい。



さなだ あつし 真多敦志 議員

**問** ふるさと納税返礼品に、温泉チケット付きコナンツアーを取り入れては。

**町長** 北栄町には温泉がないため、他の温泉のある自治体とコラボして返礼品とすることが出来るか調べたい。



どばしけんた 土橋健太 議員

**問** 町報に、「若者の広場」というタイトルで本校生徒のコラム欄を作り、若者との意見交換に活用しては。

**町長** すぐにでもお受けする準備ができていますので、今すぐにでも取り組みたい。



せいやま つばさ 盛山 翼 議員

**問** 東宝ストアと連携し、移動販売車を導入しては。

**町長** これまでに業者に打診してみたが、人手不足や採算の面で実施は考えていないとの事。



## 追跡 私たちの質問あれからどうなった!

**問** 高校までの通学路が暗い。(第1回高校生議会)

**町長** 役場車庫裏から夢知橋間に設置を検討。

↓  
高校入口の夢知橋に既設の1基に加え、役場車庫裏に1基を新設。

役場車庫裏の防犯灯





# 北朝鮮ミサイル

## シミュレーションだけはしておけ

### 町長 行政の必要措置をとる



藤田 和徳

**藤田** 国民のほとんども、頭の隅に危機感を感じても、直接危険を感じている人はいない。それでも行政だけは、シミュレーションをしておかなければならない。救援搬送、町民の人員掌握と一連の行動に支障はないか。万一のJアラート発動後は、「伏せろ」を徹底して町民に呼びかけてもらいたい。



防災無線の屋外スピーカー Jアラートの発動がないように

**町長** 北朝鮮のミサイルに対して、何より着弾させない国の対応として迎撃システムがある。Jアラートで町民に危険を知らせ、屋内なら建物に避難、しゃがんで頭部を守り、屋外なら物陰に伏せ、各自が命を守る行動をとる。救出搬送、人員掌握等の一連の救護マニュアルは、県と連携し行政の必要措置をとる。



油本 朋也

**油本** 町内の消防車の配置は大栄地区には由良、亀谷、瀬戸の3カ所だが、北条地区は2台とも土下である。大栄地区の3台の配置は移動距離を考えても合理的であるが、北条地区の2台は域内に分散した方が、現場までの到着所要時間が短縮され迅速で効果的な活動が可能ではない。

**町長** 北条の消防車庫は、交通の便が良く、連携の取りやすい場所である。また、団員の参集できる駐

か。町民の生命と財産を守るため最善の体制を望む。

車庫も確保できる。この車庫は昨年待機所を含めた大規模改修を行ったところなので、現在の施設を有効利用し、現行のままでも対応している。



昨年大改修した消防車庫

## 北条の2台を分散せよ

町長 現行のままです

消防車の配置

# 町政

# ここを問う

3月定例議会では9人の議員が20問の一般質問を行いました。

## 質問席

質問分野	質問事項	質問者	ページ
防災	北朝鮮のミサイルと町民の安全	藤田 和徳	11
	消防車の配置	油本 朋也	
教育・健康	小・中学校におけるいじめ問題	藤田 和徳	12
	鳥取中央育英高校とまちづくり	津川 俊仁	
	健康ほくえい計画	秋山 修	
農業・産業	貧困と健康格差	長谷川昭二	13
	農業の後継者不足	藤田 和徳	
	砂丘地農業の現状と課題	宮本 幸美	
	中小企業の事業承継	斉尾 智弘	
生活・福祉	農家のGAP（農業生産工程管理）	斉尾 智弘	14
	動物愛護	町田 貴子	
	紙オムツの処理	宮本 幸美	
政治・政策	太陽光発電パネルの廃棄処理	阪本 和俊	15
	給付型奨学金制度	長谷川昭二	
	地域福祉計画	秋山 修	
	地域包括ケアシステム	斉尾 智弘	
政治・政策	窓口業務の民間委託	津川 俊仁	16
	星空保全条例	油本 朋也	
	北条ドリーム農場のビジネスモデル	秋山 修	
	ドリーム農場と町長の政治姿勢	阪本 和俊	



# 平成33年度に間に合うか

町長 達成するため取り組み強化



秋山 修

秋山

「健康ほくえい計画」

「健康ほくえい計画」は平成33年度が目標達成年度となっており、今後は仕上げの期間に入ってくる。  
①当初に掲げた目標の達成状況は。  
②子どもから高齢者までの健康、職場や地域における健康づくりへの目標達成に向けて、今後どのように健康推進策を進めるのか。



町民の健康づくりのため平成24年に作成された

町長

①「喫煙率」は、ほぼ達成できている。逆に、成果が見えず達成に向け取り組み強化している項目は「運動習慣の定着」「検診の受診率向上」「歯の健康」などである。

②現在、19歳以上の町民に「暮らしと健康に関するアンケート」を実施している。この結果を精査・分析し修正を図るなど、目標達成できるように努めていく。

# アンケート数値は不確実

教委長 目的は把握と対応



藤田 和徳

藤田

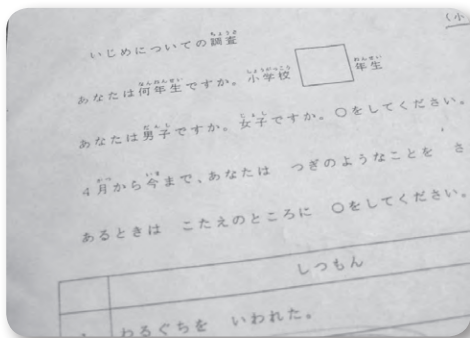
いじめ対策として

て、町として年に2回アンケート調査をしているのだが、無記名ならば、いじめ対象の調査数値は、実態数値よりかなり低いのではないかと。出た数値よりも早期の対応が重要と言われるが、対象児童を確定できるのか。アンケートの設問内容を固定せず、いろいろ混ぜてみてはどうか。

教育委員長

アンケートの数値の高低は、それを調べるのが目的ではなく、いじめの未然防止と実態把握が目的で、いち早く対応することが大事。

本町の学校では、年2回の無記名アンケートを行っているが、設問のバリエーションは検討する。



実際に使われているアンケート用紙

# 鳥取中央育英高校と共に

町長 県外生徒募集制度の拡大支援  
教委長 中学生のあこがれ感を造成



津川 俊仁

津川

本町にとつて鳥取中央育英高校は

英高校はかけがえのない財産であり、様々な面で、2人三脚で発展につなげたい。同校に県外から生徒を募集するよう働きかけてはどうか。向ヶ丘レインプランの、大栄小中学校側から見た、現状と評価は。近年、本町中学生の同校への進学状況をどう思うか。意欲ある生徒を送り込む努力も必要だ。

町長

鳥取中央育英高校は地元にとつて、なくてはならない高校である。

県外受け入れで課題となるのが生徒の住環境整備。同校の寮は、緑風寮に40人の男子生徒を受け入れているが、女子生徒の受け入れがない。県外生徒募集制度の拡大と同校への寮の増設を、県へ働きかける。「地域探究の時間」は、学校と地域が連携した取

教育委員長

レインプランの柱は、「公開授業」「児童生徒交流」「部活動交流」である。

小中学校の教員は、高校で行われている授業を自身の授業に取り入れ、改善をした例がある。多彩な部活動があり、同校にあって進学した生徒もいる。平成29年度の本町中学生の入学人数は38人と増加した。本町の意欲ある生徒が多く通うことは喜ばしいが、町が作為するものではない。

# 健康問題の解決を

町長 まずは野菜から

貧困と健康格差

長谷川

「健康格差」研究

によると、貧困、非正規労働、単身者の増加に伴い、健康面で大きなリスクを抱えている人たちがいる。放置すれば、将来健康を損なう人が続出する可能性がある。各地で「ベジファースト」など、生活習慣病対策や高齢者の重症化防止に取り

組んでいる。本町の状況は。

町長

生活習慣病対策は最も重要。今年度は、「糖尿病重症化予防事業」を実施。健診結果からハイリスク者を抽出し、保健師や栄養士が訪問し、継続的にサポートしている。

また、「食べ方講座」「健康講座」や生活改善推進員は、「塩分を減らして野菜を多めに」に加え、「いただきます、まずは野菜から」を実践で伝えていく。

平成30年度は特定健診の個人負担を減額したり、健診を受けやすくする。



長谷川 昭二



まずは野菜から



中小企業の事業承継

# 後継者を探せ

町長 事業承継ネットワークに参画



斉尾 智弘

**斉尾**

中小企業、小規模事業者の高齢化が進行し、多くの経営者が、今後10年間に引退し、平均年齢は70歳を超える。  
このままだと日本経済にとっても、本町にとっても打撃となる。事業承継支援をすべき。

**町長**

平成30年4月から、県が主体となり、事業承継に特化したネットワーク構築事業を実施する。本町も構成員となり、情報の共有と町内事業者への情報提供に取り組む。  
事業承継に係る支援策や相談窓口の周知を積極的に、町内事業所訪問時に相談を受けたら、商工会や産業支援センターを通じて専門相談機関に取り次ぐ。



事業承継支援の中心窓口

農業の後継者不足

# 小規模農家に支援を

町長 各種補助金を利用して



藤田 和徳

**藤田**

少子高齢化と後継者不足の中、小規模農地の維持管理、後継者のいない高齢農家に対する支援はあるか。

**町長**

後継者のいない高齢農家に対して第三者への事業承継を進めるほか、農地の大規模化のため貸し出した場合は、経営転換協力金もある。意欲のある農家の育成、経営支援には、頑張る農家プラン事業等に対応する。



小規模農地

**宮本**

砂丘地は、ぶどう栽培の最適地である。しかし高齢化、担い手不足により栽培面積は年々減少傾向にあり、比較的軽作業で管理できるワイン用ぶどうの栽培が注目されている。  
この度、倉吉・湯梨浜・北栄地区がワイン特区に認定された。今

**町長**

後、町としてどう関わっていくのか。  
平成30年10月30日からワインの産地表示基準が適用される。その地域で収穫したブドウを85%以上使用しなければ、ワイン名が制限される。苗木も不足する中、県や生産部の協力を得ながら苗木確保や育成に取り組む、地元の醸造所を守ることを含めて、必要な支援を行いたい。



宮本 幸美



ワイン用ブドウの圃場

## 砂丘地農業の現状と課題 どうするワイン特区 必要な支援は行う

## GAP 東京五輪に食材提供を

町長 GAP支援する

**斉尾**

2020年の東京オリンピック・パラリンピックでは多くの食材が必要になる。東京大会組織委員会は選手村で提供する食事は、GAPを取得した食材を使うと発表した。  
五輪に北栄産食材を提供し、国内外にアピールすべき。GAP取得に係る費用を支援すべき。

**町長**

北栄産食材を提供し、国内外にアピールすることに賛成、研究したい。  
GAP認証の審査費用は、10〜55万円程度で、その他、GAP指導員などの交通費等に数百万単位が必要。審査期間は、おおむね6か月〜1年。県では、平成30年度、GAP指導員の育成や認証に係る審査費用等の助成が実施される。GAP認証を進めるには、生産組織等の体制を整える必要があり、その動向を見ながら、適宜支援する。



大栄西瓜組合もGAPの取り組み中

※GAPとは

農業において、食品安全、環境保全、労働安全等の持続可能性を確保するための生産工程管理の取組のこと。これを取り入れることにより、持続可能性の確保、競争力の強化、品質の向上につながり、消費者の信頼確保が期待される。



## 太陽光発電パネルの廃棄処理

# 国に対応策を要求すべき

町長 国も検討開始



阪本 和俊

**阪本**

太陽光発電パネル等設備はメンテナンスが必要不可欠である。パネル等の廃棄処分やリサイクルについての法的整備を国に働きかけるべき。



活躍中の太陽光発電パネル

**町長**

国も、このような状況は既に把握しており、パネルの回収・適正処理について法整備が検討されている。また、リサイクル等の推進に向けたガイドラインが示され、その取り組みも進んでいる。

## 動物愛護

# 市町村の役割は

町長 飼養に対する住民理解を促進



町田 貴子

**町田**

人と動物の共生「動物愛護」を進めるため、犬の糞の後始末、野生猫対策などの適正飼養の指導、啓発が必要である。町は繁殖抑制のための不妊・去勢の手術費用を全額負担で、また捕獲器の貸し出し、災害時における動物救護対策などを積極的に推進してはどうか。地域猫などの活動を行っているところもある。町としての取り組みは。



わが家のかわいい猫にもしつけを

**町長**

町に寄せられた苦情や相談に対し、課題解決に向け県と一体となり飼養者の指導に当たっている。猫避妊・去勢手術費補助金事業に平成27年度から取り組んでいる。平成29年度は15匹の野良猫の手術費に助成した。その額は費用の三分の二、上限1万円。地域猫の取り組みは、一定の地域が自発的に取り組む場合は活動支援とともにその他の支援も検討したい。

町政(こ)を問う (生活・福祉)

町政(こ)を問う (生活・福祉)



長谷川 昭二

**長谷川**

①生活保護世帯から大学等へ進学すると独立した別世帯の扱いとなり、保護費が減る。世帯分離を解消することの国県への改善要請を。②相模原市では、成績要件は設けず、年10万円、入学支度金2万円を支給。市民税非課税世帯が対象。また、琴浦町では、大学や専門学校進学で月8千500円を支給する。

**町長**

①一番大切なのは、教育の格差をなくし、貧困の連鎖をいかに断ち切るかという視点。以上のことから、「世帯分離」をすることなく大学等への進学が認められるよう、国に対して制度の改善を要望する。

**教育委員長**

②国の給付金制度が貧弱とは思えない。本町の教育振興基金の申し込みは少なく、新たに、入学奨励金などは考えていない。町政(こ)を問う (生活・福祉)

## 給付型奨学金制度の拡充 貧困の連鎖を断ち切るため

町長 改善を要望する

教委長 給付は考えていない

町政(こ)を問う (生活・福祉)

## 紙オムツの処理 専用焼却施設が必要

町長 現時点では不要

**宮本**

町の高齢化率が32%近くに達している。高齢者の介護認定者増加等で紙オムツの使用が増えている。現在、使用済み紙オムツは、一般可燃ゴミとして処理されているが今後、専用の焼却施設が必要となる時期が到来すると思う。町としてどう対処するか。

**町長**

現在、中部ふるさと広域連合では大きな課題としてとらえていない。現時点では専用の焼却施設は必要ないと考えている。



宮本 幸美



焼却炉の展示場



## 庁舎民間委託

# どうする民間委託

町長 10月から拡大実施



津川 俊仁

**津川** 北条支所 窓口民間委託の総括を受けて、今後大栄庁舎全体への庶務業務や窓口業務などの民間委託の拡大も考えているとのことだが、今後のスケジュールは。



現在の大栄庁舎窓口の様子

### 町長

業務の継続性を確保しつつ、人件費の増加を防ぐために民間委託を進めている。

北条支所の総合窓口業務については、引き続き民間委託によって運営する。

大栄庁舎の窓口と、庶務業務の一部の民間委託については、委託後4年目以降は、毎年黒字になると試算しているため、将来的には財政効果が得られると考えており、10月より民間委託したい。

## 地域福祉計画

# なぜ遅れた

町長 今まで必要でなかった



秋山 修

### 秋山

福祉サービス

切な利用、社会福祉を目的とする事業の健全な発達、地域福祉に関する活動への住民の参加の促進を盛り込んだ「地域福祉計画」を策定するよう求められている。全国市町村の74%で策定済みであるが、北条町では未だに策定されていない。何故、ここまで「地域福祉計画」策定が遅れたのか。

### 町長

すでに、まちづくりビジョン等の総合計画や介護保険計画、障害者計画など制度ごとに策定されているため必要性を感じなかった。

しかし、複合的な問題や課題により制度の狭間に陥る人が増え、従来の制度では適切な支援が難しくなっている。複合化・複雑化した課題に的確に対応するため、来年度中の策定を目指す。



助け合い推進会議「よっしゃやらあ会」の様子



油本 朋也

## 星空保全条例 星に願う

町長 施設整備など多くの課題

教委 引き続き取り組む

**油本** 昨年県議会で成立した「鳥取県星空保全条例」により県に「星取県」の愛称が誕生した。県内では関連イベントが開催され、コラボ商品が続々誕生している。この条例を町の活性化やイメージ戦略、教育のためどう活用するの

### 町長

平成30年7月から9月

に行われる山陰ステイネーションキャンペーンに合わせ、蜘蛛家山の山菜の里で日本海の漁火鑑賞による観光客の受け入れを計画している。合わせて、星空の鑑賞ができることも伝えたい。

### 教育委員長

小学4年生、6年生、中学3年生が天体について学び、特に4年生はプラネタリウムに社会科見学に出かけている。「星取県」を県が表明したこともプラスしながら、引き続き取り組んでいく。



齊尾 智弘

## 地域包括ケアシステム 施設から在宅へ

町長 地域ケア会議で取り組み

### 齊尾

2025年には団塊の世代が75歳を超え、社会保障費の急増が見込まれる。

高齢者が住み慣れた地域で過ごすためには、24時間対応の在宅医療を普及させることと、自立支援施策の充実が重要だが、その取り組みは。

### 町長

24時間対応施設として

社会福祉協議会の小規模多機能型居宅介護事業所の「なごみの郷」や「いろりの郷」がある。地域包括支援センターで、地域ケア会議を実施することで、自立した生活を支援し、地域課題を把握し、自立支援のための資源開発や事業の見直しをしている。

また、自治会では、い



高齢者が生きいきと（いろりの郷）



鹿野で製作されたコラボカップ



# 一般会議を開催しました

町政全般にわたる諸課題について、議員と商工会会員が自由に意見を交換しました。

## 北栄町商工会

1月24日 商工会館

商工会会員14人

### 中小企業・小規模企業振興条例

**商工会** たたき台を商工会の方で作

り、町に提出した。特に今まで手が差し伸べられなかった小規模事業者にも、しっかりと支援のメニューが届くように。

**議員** 条例制定後は、施策の検証をしつかりやってみよう。(3月定例会で可決、制定。)

### 大型商業施設の誘致に伴う地元事業者の支援

**商工会** 地元会員事業所の経営の持続化について行政の支援を求めたい。

**議員** プラントの進出に賛成。町が新しい企業に支援していくのは良いが、地元事業者の経営が継続できるような支援も必要である。望むことがあれば、町に働きかけたい。

### 出合いの広場の今後の活用方針

**商工会** 周辺の賑わい創出につながる活用方法はあるか。

**議員** ふるさと館を出会いの広場に新築移転したいという夢をもっている。マンガミュージアムの誘致と子どもが遊べる公園等の複合施設の整備。

### 「コナンの家、米花商店街」に対する支援

**商工会** 米花商店街への道路案内板の設置と巨大迷路周辺の駐車場整備を望む。

**議員** 応援したい。地元の人が集まる店づくりをしてほしい。

### 町内の商工業振興

**商工会** 商工業振興の位置づけや基本的な考えはあるか。



3回目となる商工会との一般会議

### 町内企業のインターネットシップ支援

**商工会** 町内企業への人材のマッチング・就業機会の拡大についての考え方は。

**議員** 町内事業所で新卒採用は少なく、中途採用に対する支援策を要望している。町ではインターネットシップ支援補助金もある。

## 追跡 あの質問はどうなった?

【平成28年12月定例会】

### Q. ラッキョウの共同乾燥施設の導入

**問** 【宮本幸美議員】

この施設が実現すれば砂丘地農業の活性化につながり、栽培面積も増える。町の支援を。

**答** 【松本町長】

生産者の合意が得られ次第、補正予算を提案したい。



**A. 平成30年3月完成  
平成30年5月から本格稼働**



本格稼働が待ち望まれる

## ドリーム農場

# ファンドに配当できるのか

町長 当面、行えない



秋山 修

### 秋山

①北栄ドリーム農場の利益が生まれてくるのは第6期で売上高は3530万円との説明を受けたが、出資ファンドに配当ができるのは売上高がいくらのときか。  
②町長が社長を交代させるのは会社経営がどのような状態になったときか。また、想定では何年後を考慮しておられるのか。

### 町長

①営業利益が3千万円を超えたとき2〜4%の配当を行う。第6期の利益が28万円と試算されているので、配当は当面できない。  
②地方創生の一翼を担うため、担い手育成や経営相談など通常、法人にはない事業を行える定款になっている。イチゴ産地化の広がりを見極めてから能力ある者に承継したいと考えている。立ち上げ間もない現時点で、何年後に交代するとは答えられない。

### 阪本

①農業求人倍率が2・0倍を超える中、ドリーム農場の作業員は確保できるのか、経営は大丈夫か。  
②政策提言として、すいかドームを建設し、ドリーム農場を観光いちご園にして、「コナン・マンガミュージアムと連携し、県の星取県に協賛してプラネタリウムの建設も考えては。



阪本 和俊

### 町長

①ドリーム農場の作業員は、軽作業で主婦層などからも人気があり、十分に確保できる予定である。ドリーム農場の観光いちご園については、今後検討していきたい。  
②提言については、聞くだけにしておく。



期待のかかるイチゴ農場

## ドリーム農場 作業員の確保は 十分にできる



大栄小

かわもと あい  
河本 愛さん (大谷)



- 1 修学旅行で広島に行って、遊園地 (みろくの里) に行ったことが楽しかった。
- 2 部活で陸上。
- 3 店 (ローソン) がたくさんほしい。
- 4 ありがとう。

北条小

なかやま かえで  
中山 楓さん (さくら団地)



- 1 楽しかった修学旅行。
- 2 クラブ活動 (剣道部)。
- 4 卒業おめでとう。これからも自分らしく自分を大切にしていってくださいね。

北条小

やまだ めい  
山田 芽衣さん (田井)



- 1 修学旅行で友達と楽しい思い出ができた。
- 2 クラブ活動 (バスケット) と勉強の両立に頑張りたい。
- 3 山陰新幹線を通してほしい。
- 4 今までありがとう。

北条小

いのうえ ほなみ  
井上 穂奈美さん (田井)



- 1 修学旅行が楽しかった。
- 2 部活動と勉強を頑張りたい。
- 4 卒業おめでとう。

北条小

まつだ はな  
松田 英さん (みどり西団地)



- 1 バレーボールの大会で優勝したこと。
- 2 部活 (バレーボール)。
- 3 北条中学校にバレーボール部がないので、作ってほしい。
- 4 バレーボールがんばれ!!

～次代を担う子どもたち～

3/17 大栄・北条  
小学校卒業式

インタビュー項目

- 1 学校生活の思い出は
- 2 中学校で頑張りたいことは
- 3 町に望むことは
- 4 家族に、家族から一言

大栄小

さかもと はるや  
阪本 晴也さん (妻波)



- 1 運動会の組体操でうまくできたのがうれしかった。
- 2 部活で陸上。
- 3 明るい町で、コナンで有名になってほしい。
- 4 陸上で送り迎えありがとう。

大栄小

はせがわ さきと  
長谷川 咲仁さん (西高尾)



- 1 学習発表会が楽しかった。
- 2 部活 (野球) に頑張りたい。
- 3 イオン (買い物できる店) がほしい。
- 4 12年間育ててくれてありがとうございます。

大栄小

うちかわ しんのすけ  
内川 眞之祐さん (青木)



- 1 修学旅行で「みろくの里」に行ったことと、「カープ対巨人戦」を観戦できたこと。
- 2 勉強とバスケット。
- 3 コナンだけでなく「コナンラーメン」があったほうが、もっと観光客が来るのではないかなと思う。
- 4 これまでありがとう。これからもよろしく。



# なかよし 兄弟姉妹



なかよしさん 募集中！  
 議会事務局まで

とびかわ **飛川** かなる **奏瑠**さん 小6 (左)  
 飛川 むつも **睦雲**さん 小3 (中)  
 飛川 りきま **莉毅**さん 小1 (右)

(大谷)

奏瑠は黒ぼく太鼓に頑張っています。睦雲は今まで小学校無欠席で、給食を残さないようにしています。莉毅は本を読むのが大好きで、国語に頑張ると決めています。  
 みんな元気でたくましく育ってほしいと願っています。



ふくみつ **福光** やまと **大和**さん 小5 (右)  
 福光 たいよう **太陽**さん 小3 (左)  
 福光 さくらさん 5歳 (中)

(国坂東)

子どもを中心に夫婦共々、ドッジボールの魅力に魅せられて、練習日以外も3人で自主練習など切磋琢磨しています。ドッジで身に付けた集中力で帰宅するや、宿題を終わらせ3人で自主練習に取り組む日々を送っています。子ども、そして家族の夢「全国制覇」に向かって家族一丸となり、走り続けている真っ最中です！



## 議会だより44号

### 全国奨励賞 をいただきました

議会だより北栄44号が、第32回町村議会広報全国コンクールの企画・構成部門で奨励賞を、第25回鳥取県町村議会広報コンクールで優秀賞を受賞しました。平成30年2月16日に開催された表彰式・祝賀会で平井知事から激励をいただき、今後も、しっかりと広報広聴に励む決意を新たにしました。



## 知っとななる？こんな北栄

### 梅津酒造有限会社 (大谷)



江戸時代末期創業で約140年の歴史を持ち、焼酎、日本酒、梅酒を製造している。現在の当主、梅津雅典さんは5代目。地元で愛され、「ジグの人が、ジグの米で、ジグの酒屋で造った酒を呑む会 (通称、ジグ酒の会)」は発足から24年目を迎える。同会が主催する年1回の蔵出しの会は、多くのファンでにぎわう。

## 編集後記

盛春、今年第二回定例会も、一部、道の駅北条公園整備事業に関して、修正案を賛成多数で可決、活動の一年が動き始めました。新春、鳥取中央育英高校による「高校生議会」も、活気のある議論が展開されました。議会は、常に熱のある議論の場であればなりません。これも全て、市民の声が原動力です。これからも皆様の声を「議会だより」に反映させ、足元のしっかりとした北栄町づくりに全力で向かっていきます。

藤田和徳

**発行責任者** 議長 飯田 正征  
**編集** 広報広聴常任委員会  
 委員長 長谷川昭二  
 副委員長 藤田 和徳  
 前田 栄治  
 森本真理子  
 津川 俊仁  
 野田 秀樹